



JASDAQ

平成 17 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社リクルートコスモス
代表者名 代表取締役社長 重田 里志
(JASDAQ コード 8844)
問合せ先 常務取締役管理本部長 町田 公志
(TEL. 03-5440-4010)

資本パートナーシップの再構築について

～リクルートコスモスの企業価値向上を目指して～

株式会社リクルートコスモス(以下「当社」)は、当社の関係会社である株式会社リクルート(以下「リクルート」)並びに「ユニゾン・キャピタル・パートナーズ ,L.P.」、「ユニゾン・キャピタル・パートナーズ (F),L.P.」及び「UC・アストロ・インベスター,L.P.」(Unison Capital Partners ,L.P.、Unison Capital Partners (F),L.P.、UC Astro Investor,L.P.、以下「ユニゾン」)との間で、当社がユニゾン及び機関投資家からの出資を受け入れ、マネジメント・パイアウトの手法(以下「本プラン」)により、リクルートグループとの資本関係を解消し、独立することに合意いたしましたので、本日(平成 17 年 5 月 27 日)資本提携(経営権移行)に係る最終合意書(以下「本契約」)を締結いたしました。当社及びリクルートは、本日の取締役会において、本件について決議をし、また、本契約に伴い、当社グループが保有するリクルート株式の全株式を株式会社リクルートメディアコミュニケーションズへ売却することも決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 本契約に至るまでの経緯と目的について

当社は設立以来、リクルートグループの一員として、リクルートと資本関係を持ちつつも、お互いの経営を尊重し、各々の事業を推進してまいりました。

不動産バブル崩壊時にリクルートからの協力を受けて以降、当社は一次取得者向けのマンション・戸建住宅分譲事業等に経営資源を集中し、有利子負債の圧縮を促進する等の経営基盤の強化に努めてまいりましたが、平成 18 年 3 月期における固定資産の減損会計の強制適用を迎え、また将来に向けた企業価値向上のために、更なる財務体質の強化を意図しておりました。そうした中、「事業の選択と集中」という経営方針に基づきグループ全体の事業のリストラクチャリングを検討するリクルートの意向と、これまでの当社の経営手法、事業基盤、収益性並びに成長性等に対して一定の評価をいただいたユニゾンの意向が合致したことから、当社が本プランにより、リクルートグループから独立することにつき、三社間で合意し、本日、本契約を締結したものであります。

これによりまして、本契約の定めが実行される時点において、ユニゾンがリクルートに代わり当社の筆頭株主(資本パートナー)となります。当社は資本の充実及び大幅な有利子負債の圧縮を実施することにより財務体質の強化を図るとともに、これまで築いてまいりました事業基盤を磐石なものとし、更なる企業価値向上を目指してまいります。

2. 本契約における施策の概要

リクルートへの第三者割当増資及び無償譲受

当社は、本日開催の取締役会において、リクルートを引き受け先とする約 139 億円の第三者割当による普通株式発行(1 株あたり 380 円)を決議いたしました。なお、リクルー

トは今回お引き受けいただく当社株式とリクルート・株式会社リクルートメディアコミュニケーションズ・株式会社リクルートエイブリックの三社が現在保有する当社株式とを併せた全株式(54,220千株)を当社へ無償譲渡いただく予定であります。

尚、本日、第三者割当増資に関する詳細要領につきましては、別途開示しておりますのでご覧下さい。

ユニゾン及び機関投資家への有利な発行価額による第三者割当増資等

当社は、引き受け先をユニゾンとする約90億円の第三者割当による普通株式発行(1株あたり140円)を実施する予定であります。また、引き受け先を機関投資家とする約256億円の第三者割当による優先株式発行(1株あたり1,000円)及びこれと併せて、同機関投資家を引き受け先とする第三者割当により新株予約権(発行価額無償・行使価額1株につき140円)を発行する予定であります。

上記の第三者割当による普通株式発行及び優先株式発行並びに新株予約権発行については、授權株式数の拡大・優先株式に関する定款変更議案及び株主以外の者に対して特に有利な価額をもって発行する特別決議議案が平成17年6月29日開催予定の定時株主総会において承認されることを条件として、本日開催の取締役会にて決議しております。

尚、本日、第三者割当増資に関する詳細要領につきましては、別途開示しておりますのでご覧下さい。

(ご参考1) 第三者割当増資の総額

種類	割当先	金額
普通株式 (229億円)	株式会社リクルート	139億円
	エゾン・キャピタル・パートナーズ (F),L.P.	48億円
	エゾン・キャピタル・パートナーズ ,L.P.	37億円
	UC・アストロ・インベスター,L.P.	5億円
A種優先株式 (総額115億円)	東京海上日動火災保険(株)	45億円
	(株)あおぞら銀行	40億円
	中央三井プライバートクティ第一号投資事業組合	15億円
	アイティ・スター生命保険(株)	5億円
	AIG イソソ生命保険(株)	5億円
	アスミューチャル生命保険(株)	4億円
	メルリフ日本証券(株)	1億円
B種優先株式 (総額101億円)	(株)東京スター銀行	35億円
	中央三井プライバートクティパートナーズ 投資事業有限責任組合	20億円
	オリックス(株)	15億円
	(株)あおぞら銀行	10億円
	中央三井プライバートクティ第一号投資事業組合	10億円
	メルリフ日本証券(株)	4億円
	アイティ・スター生命保険(株)	3.5億円
AIG イソソ生命保険(株)	3.5億円	
C種優先株式 (総額40億円)	中央三井プライバートクティパートナーズ 投資事業有限責任組合	20億円
	東京海上日動火災保険(株)	5億円
	(株)あおぞら銀行	5億円
	中央三井プライバートクティ第一号投資事業組合	5億円
オリックス(株)	5億円	
合計		485億円

(ご参考2) 新株予約権の発行総数

種類	割当先	新株予約権数
	東京海上日動火災保険(株)	3,467個
	(株)あおぞら銀行	3,082個

第1回新株予約権 (総数 8,860 個)	中央三井プライブリティ第一号投資事業組合 アイティスター生命保険(株) AIG イソソ生命保険(株) スミューチュアル生命保険(株) メリリフ日本証券(株)	1,156 個 385 個 385 個 308 個 77 個
第2回新株予約権 (総数 5,212 個)	(株)東京スター銀行 中央三井プライブリティ-ナース投資事業有限責任組合 オリックス(株) (株)あおぞら銀行 中央三井プライブリティ第一号投資事業組合 メリリフ日本証券(株) アイティスター生命保険(株) AIG イソソ生命保険(株)	1,806 個 1,032 個 774 個 516 個 516 個 206 個 181 個 181 個

当社筆頭株主及び主要株主の異動等の予定

上記 ~ により、ユニゾンは当社の発行済普通株式の 61.7%(完全希薄化後で 54.4%)を保有することとなり、リクルートに代わる筆頭株主(資本パートナー)となる予定であります。

増資後の大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ユニゾンキャピタルパートナーズ (F),L.P.	34,368	33.0
ユニゾンキャピタルパートナーズ ,L.P.	26,345	25.3
UC・ASTRO・インベスター,L.P.	3,572	3.4
(株)みずほコーポレート銀行	2,086	2.0
(株)三井住友銀行	1,479	1.4
時永達男	1,417	1.4
中央三井信託銀行(株)	1,362	1.3
(株)東京三菱銀行	911	0.9
ユービー・エス・アイ・ロンドンアジア・アソシエイツ	829	0.8
リクルートコスモス社員持ち株会	802	0.8
発行済株式総数	104,196	100.0

所有株式数及び所有株式数の割合は、平成 17 年 3 月 31 日現在の株主名簿記載の株式数に、今回の第三者割当増資で増加する株式数を加算して算出したものであります。(上記記載の無償譲受予定の自己株式を除く。)

ストックオプション制度導入及び経営陣の株式取得について

当社の業績向上に対する貢献意欲や士気を高めるとともに、将来の企業価値向上を図ることを目的として、当社の取締役、監査役及び従業員に対し、ストックオプションとして新株予約権を無償で発行いたします。

また、今後におきまして、本プランによる自主独立経営を推進するという観点から、経営陣に対する時価発行増資を実施し、更に当社の業績向上に対する責任と意識を高めてまいります。尚、割当株数等発行要領の詳細については、現段階では未定あり、確定次第お知らせいたします。

上記の商法第 280 条ノ 20 及び第 280 条ノ 21 の規定に基づく、ストックオプションとして新株予約権を発行する特別決議議案が平成 17 年 6 月 29 日開催予定の定時株主総会において承認されることを条件として、本日開催の取締役会にて決議しております。

尚、本日、「ストックオプション(新株予約権)の付与に関するお知らせ」として、別途開示しておりますのでご覧下さい。

経営体制について

今後の当社経営体制は、新たに代表取締役3名体制とし、7名の現任取締役に加えて、ユニゾンの指名する取締役(非常勤)2名を迎え入れた9名で構成する予定であります。併せて、ユニゾンの指名する監査役(非常勤)1名を迎え入れる予定であります。

また、今後の企業価値向上を目指し、意思決定の迅速化及び業務執行機能の強化と合わせて、多様な人材を適材適所に登用できる機会の確保を図ることから、平成17年7月1日付にて執行役員制度を導入することを本日開催の取締役会で決定いたしました。

さらに、当社グループとして掲げる「お客様満足の向上を追求する」という方針を、グループ横断で更に推進していくことを目指して、グループCEOを新設し、グループ中核会社である株式会社コスモスライフ・株式会社コスモスモアとの更なる連携強化を図るとともに、グループの相乗効果の最大化を追求してまいります。

上記の新任取締役選任の件、新任監査役選任の件については、平成17年6月29日開催予定の定時株主総会に付議することを本日開催の取締役会にて決議しております。

尚、本日、「代表者及び代表取締役の異動並びに執行役員制度の導入に関するお知らせ」として、別途開示しておりますのでご覧ください。

当社グループが保有するリクルート株式の譲渡

当社は、本プランによりリクルートグループから独立することに伴い、現在当社グループが保有するリクルート株式の全株式(2,724千株)を株式会社リクルートメディアコミュニケーションズへ譲渡いたします。この譲渡により、平成18年3月期の連結損益に約25億円及び個別損益に約18億円を特別利益として計上する予定であります。

尚、本日、「関係会社株式の譲渡並びに特別利益の発生に関するお知らせ」として、別途開示しておりますのでご覧ください。

商号の変更

当社は、本プランによりリクルートグループから独立することに伴い、現在の商号である「株式会社リクルートコスモス」の名称を将来変更する予定であります。

尚、新商号並びに変更時期等については、現段階では未定であります。確定次第お知らせいたします。

3. 今後について

当社は、本契約に基づく施策により約485億円の資本増強が図られることとなりますが、今後については、固定資産の減損会計の強制適用に伴う減損損失約250億円を見込んでいくことに加えて、リクルートグループからの独立に伴い、現在保有しておりますファーストファイナンス株式会社の全株式をリクルートの子会社へ譲渡すること、また、将来に向けた一層の財務体質の強化を目的に、当社ならびにユニゾンが目指す、より早期に当社の企業価値向上を実現するという観点とユニゾンにおける投資的観点も加えて、全資産の内容・評価等を可能な限りアグレッシブに見直す計画であることなどから、更に数百億円程度のコスト発生の可能性が考えられます。尚、その金額を含めた平成18年3月期の業績予想への影響額等については現段階では未定であり、確定次第お知らせいたします。

尚、経営責任を明確にするという意味において、今後当期(平成18年3月期)中、代表取締役重田里志の役員報酬を全額返上することといたします。

今後につきましては、現経営陣、ユニゾン及び優先株主となる機関投資家と一体となり、有利子負債の圧縮等を図ることによる財務体質の強化及び更なる収益力の向上に努め、早期に株主の皆様への利益分配を実現できるよう努力してまいります。

株主各位、関係各位におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

4. 今後の日程

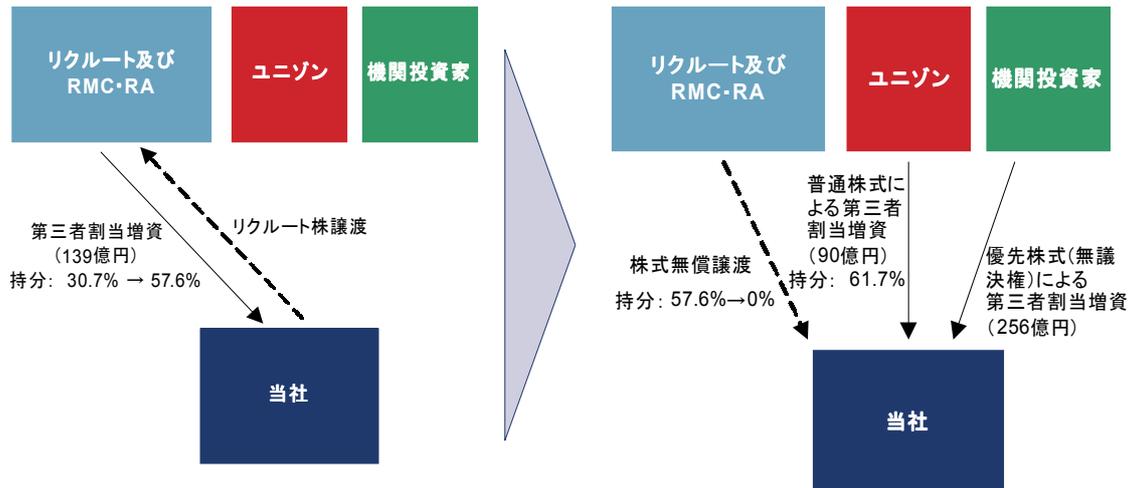
平成 17 年 5 月 27 日（本日） 資本提携（経営権移行）に係る「最終合意書」締結・調印
第三者割当増資等（普通株式・優先株式・新株予約権）
の発行取締役会決議
有価証券届出書提出（関東財務局）

平成 17 年 6 月 29 日（予定） 当社定時株主総会（授権株式数の拡大、優先株式に関する定
款変更、普通株式・優先株式・新株予約権の有利発行、新任取
締役及び新任監査役選任、ストックオプション等付議予定）
リクルート株式譲渡予定
リクルートより増資払込予定

平成 17 年 6 月 30 日（予定） リクルートより当社株式の無償譲受予定
ユニゾン・機関投資家より増資払込予定

以上

【ご参考 3】本件取引スキーム



* 上記スキーム図における RMC は、株式会社リクルートメディアコミュニケーションズ、RA は、株式会社リクルートエイブリックを表します。